

大豊産業株式会社(香川県高松市)

豊富な経営資源で社会に貢献し、未来を創造する「技術商社」

～グループ全体で四国から全国、そして将来は海外へ～

《事業概要》

弊社の主な事業は、送配電や通信、道路整備などに関わるインフラ整備事業と、工場の制御機器をはじめとする各種計測機器とエンジニアリング業務を提供する省力化事業です。近年では、太陽光発電やLEDなどの新エネルギー事業やカメラ・ロボットなどのIoT事業にも注力し、事業を拡大しています。

《70年かけて築いた3000社の取引先》

弊社は1949年に四国電力グループを主要取引先として、電気関連機材の卸売りを手がける会社としてスタートしました。その後、プラント工場や横河電機など大手取引先を開拓し、商社としての礎をつくりました。

その後、電力自由化に危機感を抱いた先代社長が、電力分野以外の販路を模索しました。その結果、工場向けの制御・計測機器の『提案』から、プロセス制御システムの『設計・構築』、更に納入後の制御・計測機器の『保守メンテナンス』まで一貫したトータルサービスを提供する体制を構築し、その技術と経験を蓄積することができました。近年では太陽光発電や蓄電池などの新エネルギーの他に、人出不足の解消や省力化・自動化をテーマに、ロボット、カメラ、AI技術などを駆使したIoT関連を手掛け、事業を拡大しています。



弊社は、提案力と技術力を兼ね備えた「技術商社」と称しており、幅広い商材を扱う商社機能と、経験豊富な技術者を擁したエンジニアリング機能を併せ持っていることが、大きな特徴であり当社の強みです。さらに、電力・交通・プラントなど様々な分野の製品を製造・販売するメーカーや制御機器の製造・販売などを行う様々な分野のグループ会社を有し、創業時は3名だった従業員も現在ではグループ全体で400人、売上高も150億円を超える規模となりました。今後も、グループ会社間での協業や人材交流を進めていきます。また、3000社以上にのぼるお取引先様は、先人たちが70年間かけて築いてきた信頼の証であり、新たな価値創造につながる経営資源でもあると考えています。

《今後の展望》

弊社は、電線地中化の資材メーカーや産業用ロボットの製造を手がけるグループ会社などを有しており、自然災害を想定した「防災」や「減災」、少子高齢化対策として「省力化」や「省人化」、CO2削減に向けた「再生可能エネルギー」などの社会問題を解決できる事業を数多く手掛けています。今後は5G時代・IoT社会の到来に向けた「遠隔制御」に関する事業に積極的に取り組んでいきます。

世の中で困っている人や解決すべき課題のために、大豊産業グループの豊富な経営資源を活用することで、私達の生活を支える電気・通信・社会インフラや各種製造業など従来からのお取引先様や、さらに「農業」や「畜産」などの新しい分野のお取引様とともに、70年育てていただいた地元四国の活性化に寄与してきたいと考えています。そして、事業エリアを中国地方、西日本、全国へ、将来は海外を視野に入れ、グループ全体で事業を拡大していくことを目指してまいります。

大豊産業株式会社

Robococco

自律走行型ケージ監視システム

Robococco NEW

ロボココ

走破性の高い独自開発のクローラーにRGBカメラと遠赤外線カメラをデュアル搭載。さらに、センシンロボティクス社と共同開発した異常判定用AIが探知箇所のケージ内異常を検出しモバイルに通知。緊急内巡回の省力化と衛生レベル向上を実現します。



製品の紹介動画はこちら

走行ロボット用	THS-01シリーズ
管理システム用	THP-01シリーズ

《会社概要》

会社名：大豊産業株式会社
代表者：代表取締役社長 乾 和行 (いぬい かずゆき)
設立：1949年10月26日
資本金：8,000万円
従業員数：216名 (2020年10月現在)
本社：香川県高松市寿町1-1-12 バシフィックシティ高松ビル9階
TEL：087-811-4567 FAX：087-811-4568
URL：<http://www.taihos.co.jp/>